

非核平和都市宣言

私たち市民の願いは、緑豊かな信達の地で育まれた文化や歴史を尊重し、人や地域の結びつきを生かした協働のまちづくりに努めながら、将来にわたり平和で文化的な生活が維持されることです。

しかし、そのような願いに反し、世界の各地では生命や生活の基盤が踏みにじられる武力紛争が相次ぎ、核兵器廃絶や軍縮の交渉にも大きな進展はなく、むしろ核兵器使用の危険性は高まりつつあります。加えて、「絶対安全」と言われた福島原発事故による放射線被ばくという新たな核の不安や脅威にも直面しています。

このような厳しい状況下にあって、あらためて日本国憲法が掲げる平和理念の重要性を再認識するとともに、「非核三原則」を遵守し、世界で唯一の被爆国として、広島、長崎のあの惨禍を二度と繰り返してはならないことを世界の人々に訴え続けていきます。

私たち伊達市は、未来を担う世代にも戦争が引き起こす多くの悲劇や平和を維持することの尊さを語り継ぎ、すべての核兵器の廃絶と人類共通の悲願である恒久平和の実現をめざし、『非核平和都市』であることをここに宣言します。

平成24年 月 日

福島県伊達市